

第3部 台東区学校教育情報化推進計画

1 ICT 環境の整備状況

本区では、平成13年度に全小・中学校のパソコン室を整備して以降、電子黒板、実物投影機の整備を進めてきました。また、平成25年3月策定の「台東区学校教育ビジョン」において、「ICT教育環境の充実」等を施策として掲げ、平成26年度以降、教員が授業等において使用するためのタブレット型パソコンや指導者用(教員用)デジタル教科書等の導入を進めてきました。さらに、令和元年10月策定の「台東区学校教育ビジョン」において、「時代の変化に対応したICT教育環境の充実」等を施策に掲げ、本区におけるICT教育環境の更なる充実に向けて取り組んできました。

そして、令和元年12月に国の「GIGAスクール構想」が示されてからは、令和3年3月までに学習者用端末の1人1台整備、高速大容量の校内通信ネットワークの整備及び充電保管庫の設置を行うとともに、学習支援ソフトやドリル教材を導入し1人1台端末を活用できる環境を整えました。さらに、既存回線の容量が逼迫していたため、令和7年度には10Gbpsへ回線を増強し、快適な学習環境の確保を行いました。

校務においては、統合型校務支援システム等の運用は継続し、加えて出退勤管理システムや自動採点システム(中学校のみ)を導入したことで、校務の情報化を進めることができました。

【資料1】ICT環境の整備状況

	台東区	東京都平均値	全国平均値
無線LANまたは移動通信システム(LTE等)によりインターネット接続を行う普通教室の割合	100%	99.8%	98.3%
インターネット接続状況(通信速度1Gbps以上)	100%	89.3%	81.0%
普通教室の大型提示装置整備率	100%	90.3%	89.6%
統合型校務支援システム整備率	100%	100%	91.4%

文部科学省 令和6年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」より

2 教員のICT活用指導力の状況

教員のICT活用指導力については、文部科学省が毎年実施している「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における授業でのICT活用指導力の自己評価によると、8割以上の教員が肯定的な評価をしています。

しかし、全ての項目において、肯定的な回答が全国平均を上回ってはいるものの、東京都の平均を下回っています。

本計画期間においては、教員の「授業にICTを活用して指導する能力」及び「児童生徒のICT活用を指導する能力」を中心に教育委員会が支援し肯定的な評価を底上げする必要があります。

【資料2】ICT活用指導力の状況

※「できる」又は「ややできる」と回答した割合

	台東区	東京都平均値	全国平均値
教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	91.1%	92.2%	89.6%
授業にICTを活用して指導する能力	82.9%	85.0%	80.4%
児童生徒のICT活用を指導する能力	84.2%	85.6%	81.6%
情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	91.0%	91.1%	88.1%

文部科学省 令和6年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」より

3 児童・生徒のICT活用力の状況

区立小中学校においては、様々な授業や活動でタブレット端末等を活用しており、児童・生徒が「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現できるよう取り組んでいます。

小学校第4・5学年及び中学校第1・2学年を対象に実施している台東区総合学力調査における昨年度の学習の中でICT機器を活用することの評価によると、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。」「分からぬことがあったときに、すぐ調べることができる。」「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。」「友達と協力しながら学習を進めることができる。」の項目で7割以上の児童・生徒が肯定的な評価をしています。

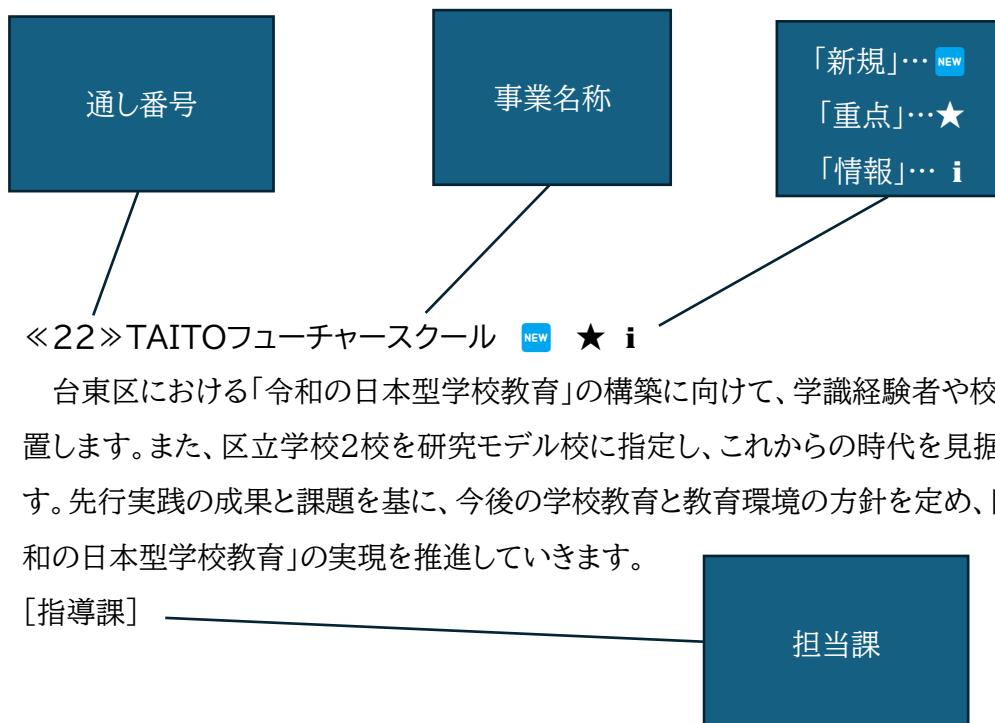
II 基本方針

本計画では、「台東区学校教育ビジョン」の施策目標及び文部科学省が令和6年4月に示した「教育DXに係る当面のKPI」並びに令和6年9月に実施した「校務DXチェックリスト」における回答結果に基づき、基本方針を次のとおり定めます。

- 基本方針1 ICTを活用した児童・生徒の資質・能力の育成
- 基本方針2 教員のICT活用指導力の向上
- 基本方針3 ICTを活用するための環境の整備
- 基本方針4 ICT推進体制の整備と校務の改善

事業の見かた

- ・アクションプラン(令和5～7年度)に掲載されていない事業を「新規」NEWとしています。
- ・アクションプランの施策目標ごとに、重点的・中心として取り組む事業を「重点」★としています。
- ・台東区学校教育情報化推進計画に関連する事業は、「情報」iとしています。



基本方針1 ICTを活用した児童・生徒の資質・能力の育成

Society5.0の時代において、新たな社会を牽引する能力、特に学習の基盤となる情報活用能力の育成が不可欠であり、ICTの特性を最大限に生かし、多様な情報や時間・空間の制約を超えることで、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが求められています。

また、不登校、障害、病気療養、日本語指導が必要な児童生徒へのきめ細かな支援や、高度な学びの機会提供にもICTを最大限活用することが必要です。

さらに、児童・生徒が自他の権利を尊重し、情報を正しく安全に利用できるよう、情報モラルを含めた指導や、健康面への配慮も重要です。

そのために、教員がICTを使う授業から、子供たちがクラウド環境において、それぞれの発達段階に応じて情報及び情報技術を日常的に活用しながら、自ら問題を発見・解決したり、多様な他者と協働したりしながら、自ら課題を解決していく授業への転換を推進します。

指標

指標名	現況	出典
(1) 発達段階に応じた情報活用能力の育成		
○ PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる児童・生徒の割合	小学校 71.7% 中学校 61.6%	全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問
○ PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる児童・生徒の割合	小学校 79.1% 中学校 77.4%	全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問
(2) ICTの特性を生かした多様な学びの実現		
○ 特別な支援を要する児童生徒等に対する学習活動等の支援でPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用した割合	小学校 36.8% 中学校 28.6%	全国学力・学習状況調査 学校質問

施策

- (1) 発達段階に応じた情報活用能力の育成
- (2) ICTの特性を生かした多様な学びの実現

※ 各施策における事業の冒頭には、« »としてアクションプランの通し番号を掲載しています。

1-(1) 発達段階に応じた情報活用能力の育成

義務教育9年間の学びと、それぞれの発達段階に応じて情報及び情報技術を活用して、自ら問題を発見・解決したり、自分の考えを形成したりできる情報活用能力を育成します。

子どもたちが情報社会での行動に責任をもつとともに、自律的に行動し、情報を正しく安全に利活用しながら情報社会に参画する態度を身に付けさせます。

«15» 児童・生徒の学力向上と授業改善 ★ i

文部科学省・東京都・区の学力等に関する調査の結果等を基に、区立小中学校の児童・生徒の学習状況を把握・分析し、子供の実態にあった効果的な授業のための改善を行います。その際、各校に配置された学力向上推進ティーチャーを活用し、個別指導、少人数指導やチーム・ティーチングを実現し、学力向上を図ります。

[指導課]

«19» 言語活動を取り入れた授業の充実 i

区立小中学校で言語活動を充実させた授業を実施することにより、児童・生徒の深い学びを実現します。授業改善の手立ての一つとして言語活動を取り入れた授業を行います。

[指導課]

«22» TAITO フューチャースクール NEW ★ i

台東区における「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、学識経験者や校長等による検討委員会を設置します。また、区立学校2校を研究モデル校に指定し、これからの中の時代を見据えた先行実践に取り組みます。先行実践の成果と課題を基に、今後の学校教育と教育環境の方針を定め、区内全ての学校における「令和の日本型学校教育」の実現を推進していきます。

[指導課]

«42» 情報モラル教育の推進 i

区立小中学校の児童・生徒が、情報社会での行動に責任をもち、情報を見極めるとともに正しく安全に利用する判断力を全教育活動を通じて身に付けさせます。また、教員や保護者が意識を高め、児童・生徒がコンピュータなどの情報機器、スマートフォンを適切に使用することができるよう、家庭や地域との連携を図ります。さらに、情報活用能力テストを実施することで、児童・生徒が自己のスキルを確認し、成長を実感できる機会を提供します。

[指導課]

1-(2) ICTの特性を生かした多様な学びの実現

ICTの特性を最大限活用し、「個に応じた指導」の充実を図るとともに、不登校や病気療養等により特別な支援が必要な子供たちに対しての学習機会の確保に向けた取組を推進します。

«15» 児童・生徒の学力向上と授業改善 ★ i

文部科学省・東京都・区の学力等に関する調査の結果等を基に、区立小中学校の児童・生徒の学習状況を把握・分析し、子供の実態にあった効果的な授業のための改善を行います。その際、各校に配置された学力向上推進ティーチャーを活用し、個別指導、少人数指導やチーム・ティーチングを実現し、学力向上を図ります。

[指導課]

«22» TAITOフューチャースクール NEW ★ i

台東区における「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、学識経験者や校長等による検討委員会を設置します。また、区立学校2校を研究モデル校に指定し、これからの時代を見据えた先行実践に取り組みます。先行実践の成果と課題を基に、今後の学校教育と教育環境の方針を定め、区内全ての学校における「令和の日本型学校教育」の実現を推進していきます。

[指導課]

«41» GIGAスクール構想に基づくICT教育の推進 i

児童・生徒1人1台端末等のICT機器やデジタル教科書・教材を活用した授業を実施することで、児童・生徒の授業に対する関心や意欲、理解度を高め、情報活用能力の育成を図るとともに、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせるため、情報モラル教育を行います。

また、そのために必要なICT教育環境を整備します。

[庶務課、指導課]

基本方針2 教員のICT活用指導力の向上

ICTを活用して学習指導要領を着実に実施し、学校教育の質の向上につなげるため、各学校におけるカリキュラム・マネジメントを充実させつつ、全ての教師が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かしていくことが求められています。

また、ICT支援員の配置を充実させ、組織的な支援体制を築く必要があります。

そのために、管理職の意識改革や教育の情報化を推進するリーダーの育成等に関する研修を実施し、全ての教員のICT活用指導力の向上を図るとともに、委託業者と連携してICT支援員の確保・育成に取り組み、学校支援の充実を図ります。

指標

指標名	現況	出典
(1) 教職員研修の充実		
<input type="radio"/> 児童生徒のICT活用を指導する能力 あまりできない・ほとんどできないと回答した教員の割合	15.7%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査
(2) ICT活用事例の共有化		
<input type="radio"/> 学習系ポータルサイトのICT活用事例等の新規掲載数	54件	学習系ポータルサイト
(3) 外部人材を活用した学校支援の充実		
<input type="radio"/> ICT支援員の支援(授業支援・研修・提案) 件数(9月末時点)	11,540件	ICT支援員業務報告

施策

- (1) 教職員研修の充実
- (2) ICT活用事例の共有化
- (3) 外部人材を活用した学校支援の充実

※ 各施策における事業の冒頭には、« »としてアクションプランの通し番号を掲載しています。

2-(1)教職員研修の充実

学校訪問等の実施により、学校別の課題解決への支援を行うとともに、管理職の情報化推進に対するマネジメント力の向上、情報化推進リーダーの育成等、校内の役割に応じた研修の充実を図ります。

«122»教職員の資質・能力の向上 i

区立幼稚園・石浜橋場こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育課題や教科領域、担当職域等について教育委員会や校(園)内、各施設等で研修を行い、教職員の資質向上や教育活動の充実を図ります。

[指導課]

«123»学校教育の情報化推進における教員育成 i

学校におけるDX推進や情報セキュリティ意識啓発を目的とした研修・研究の機会を確保します。

[指導課]

2-(2)ICT活用事例の共有化

ICTを活用した特色ある取組や授業実践の好事例を収集し、教育に関する情報に一元的にアクセスできる学習系ポータルサイトに掲載し、情報の共有化を図ります。

«123»学校教育の情報化推進における教員育成 i

学校におけるDX推進や情報セキュリティ意識啓発を目的とした研修・研究の機会を確保します。

[指導課]

«136»クラウド環境を活用した校務DXの推進 NEW i

教職員の働き方改革と教育の質向上を図るため、学校において校務DXを推進します。汎用クラウドツールを活用することで、業務の効率化を図り、教職員の時間的余白を創出します。

[指導課]

2-(3)外部人材を活用した学校支援の充実

全ての教員のICT活用指導力の向上に向けて、ICT支援員による学校支援の拡充及び配置等の充実を図ります。

«41»GIGAスクール構想に基づくICT教育の推進 i

児童・生徒1人1台端末等のICT機器やデジタル教科書・教材を活用した授業を実施することで、児童・生徒の授業に対する関心や意欲、理解度を高め、情報活用能力の育成を図るとともに、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせるため、情報モラル教育を行います。

また、そのために必要なICT教育環境を整備します。

[庶務課、指導課]

基本方針3 ICTを活用するための環境の整備

家庭の経済状況、障害の有無等にかかわらず、全ての児童・生徒がICTの恩恵を享受できる「当たり前」で「日常的」な教育環境を整備することが求められています。GIGAスクール構想で整備された高速ネットワーク環境について、通信速度のボトルネック解消や、大型提示装置などの教室環境の高度化に取り組みます。

また、児童・生徒の個人情報の適正な取扱いと情報セキュリティの確保を図り、安全にICTを活用できる基盤を作ることが不可欠です。

そのために、教員が使用する校務用端末と学習用端末の一台化による教育データの連携を図るとともに、学習や校務の様々な教育データを可視化することにより、指導や支援が必要な児童・生徒の早期発見や、児童・生徒の特性・能力に応じた学習支援など指導の改善を図ります。

さらに、教職員への「台東区立学校教育情報セキュリティポリシー」の周知徹底を図ります。

指標

指標名	現況	出典
(1) ICT及びネットワークの環境整備 <input type="radio"/> 教員の校務用端末と学習用端末の一台化	未整備	—
(2) 教育DXの推進 <input type="radio"/> 校務における生成AI活用状況 半分以上の教職員が活用している学校の割合	0.0%	校務DXチェックリスト
(3) 情報セキュリティの確保 <input type="radio"/> 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力 あまりできない・ほとんどできないと回答した教員の割合	9.0%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査

施策

- (1) ICT及びネットワークの環境整備
- (2) 教育DXの推進
- (3) 情報セキュリティの確保

※ 各施策における事業の冒頭には、« »としてアクションプランの通し番号を掲載しています。

3-(1)ICT及びネットワークの環境整備

都内で共通化された統合型校務支援システムを導入するとともに、汎用型クラウドサービスを効果的に活用した学習支援、情報セキュリティ、データ活用、校務改善等のための環境整備を図ります。あわせて、端末更新やクラウド化等における環境構築、運用保守等の在り方について検証し、必要な改善を図ります。

«22» TAITOフューチャースクール NEW ★ i

台東区における「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、学識経験者や校長等による検討委員会を設置します。また、区立学校2校を研究モデル校に指定し、これから時代を見据えた先行実践に取り組みます。先行実践の成果と課題を基に、今後の学校教育と教育環境の方針を定め、区内全ての学校における「令和の日本型学校教育」の実現を推進していきます。

[指導課]

«41» GIGAスクール構想に基づくICT教育の推進 i

児童・生徒1人1台端末等のICT機器やデジタル教科書・教材を活用した授業を実施することで、児童・生徒の授業に対する関心や意欲、理解度を高め、情報活用能力の育成を図るとともに、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせるため、情報モラル教育を行います。

また、そのために必要なICT教育環境を整備します。

[庶務課、指導課]

3-(2)教育DXの推進

児童・生徒の主体的な学びや教員の授業づくりに活用できるデジタル教科書やAI型ドリル教材、学習支援ソフト等の整備を促進するとともに、メタバース、対話型生成AI等先端技術による多様な学び、校務の効率化を推進します。

また、教育に関する情報に一元的にアクセスできる学習系ポータルサイトの利用促進を図ります。

«135» 学校における生成AIの活用 NEW i

学校における教職員の校務効率化と児童・生徒の学習活動支援を目的に、「台東区立学校における生成AIの利活用に関するガイドライン」に基づき、生成AIの適切な利活用を推進します。

[指導課]

«136» クラウド環境を活用した校務DXの推進 NEW i

教職員の働き方改革と教育の質向上を図るため、学校において校務DXを推進します。汎用クラウドツールを活用することで、業務の効率化を図り、教職員の時間的余白を創出します。

[指導課]

3-(3)情報セキュリティの確保

安心・安全なクラウド環境を担保するために、セキュリティに係る教職員研修等により「台東区立学校教育情報セキュリティポリシー」の周知徹底を図るとともに、クラウドサービスの活用推進及び適切な運用に向けて、必要に応じて運用管理基準の見直しを図ります。

«122»教職員の資質・能力の向上 i

区立幼稚園・石浜橋場こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育課題や教科領域、担当職域等について教育委員会や校(園)内、各施設等で研修を行い、教職員の資質向上や教育活動の充実を図ります。

[指導課]

«123»学校教育の情報化推進における教員育成 i

学校におけるDX推進や情報セキュリティ意識啓発を目的とした研修・研究の機会を確保します。

[指導課]

基本方針4 ICT 推進体制の整備と校務の改善

教師の長時間勤務を解消し、学校の働き方改革を実現するため、ICT を活用した校務の効率化が重要な役割を果たします。教育委員会と学校のそれぞれが ICT 教育推進のための必要な組織と体制を整備し、特定の教師に負担が過度に集中しないよう、組織的な対応や改善を図る必要があります。

そのために、教育委員会や管理職が責任をもって教職員を支援する体制を構築し、従来アナログに最適化されていた校務をデジタル化し、校務の効率化や教育データの利活用に取り組むため、クラウド活用による次世代の校務 DX を推進します。

指標

指標名	現況	出典
(1) 組織的なICT推進体制の構築		
○ 組織的な校内推進体制を確立している学校の割合	84.6%	区独自調査
(2) ICTを活用した働き方改革		
○ 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力 あまりできない・ほとんどできないと回答した教員の割合	8.9%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査
○ 学校におけるクラウドサービス活用状況 教職員同士のやり取りに係る項目の平均得点	10.4 点	校務DXチェックリスト

施策

- (1) 組織的なICT推進体制の構築
- (2) ICTを活用した働き方改革

※ 各施策における事業の冒頭には、« »としてアクションプランの通し番号を掲載しています。

4-(1)組織的なICT推進体制の構築

学校におけるICT活用等について協議する TAITO フューチャースクール推進委員会(案)を定期的に開催し、取組の推進を図るとともに、管理職、リーダーとなる教員から組織的に学校全体の ICT 活用を促進するため、積極的な情報発信及び教員への確実な端末整備を行います。

«22» TAITO フューチャースクール NEW ★ i

台東区における「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、学識経験者や校長等による検討委員会を設置します。また、区立学校2校を研究モデル校に指定し、これからの中の時代を見据えた先行実践に取り組みます。先行実践の成果と課題を基に、今後の学校教育と教育環境の方針を定め、区内全ての学校における「令和の日本型学校教育」の実現を推進していきます。

[指導課]

«123» 学校教育の情報化推進における教員育成 i

学校におけるDX推進や情報セキュリティ意識啓発を目的とした研修・研究の機会を確保します。

[指導課]

«136» クラウド環境を活用した校務DXの推進 NEW i

教職員の働き方改革と教育の質向上を図るため、学校において校務DXを推進します。汎用クラウドツールを活用することで、業務の効率化を図り、教職員の時間的余白を創出します。

[指導課]

4-(2)ICTを活用した働き方改革

校務用端末と学習用端末の一台化による教育データの連携、クラウドの日常的な活用を推進し、保護者との連絡、教職員の情報共有、テスト採点のデジタル化、会議等のハイブリッド開催等により、業務の改善を図ります。

«22» TAITO フューチャースクール NEW ★ i

台東区における「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、学識経験者や校長等による検討委員会を設置します。また、区立学校2校を研究モデル校に指定し、これから時代を見据えた先行実践に取り組みます。先行実践の成果と課題を基に、今後の学校教育と教育環境の方針を定め、区内全ての学校における「令和の日本型学校教育」の実現を推進していきます。

[指導課]

«134» 教員の働き方改革の推進 ★ i

学校教育の質の向上のために、教員が教員でなければできないことに集中できるように「学校・教師が担う業務に係る3分類」の徹底を図るとともに、管理職研修等を通じたマネジメント能力の向上を図ります。

また、教員の勤務時間の上限に関する方針を定め、教員を取り巻く環境整備に向けて、教員業務支援員や副校長補佐、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、多様な支援スタッフの配置拡充及び効果的な活用の促進、ICT活用による業務効率化の促進等に取り組みます。

[指導課]

«135» 学校における生成AIの活用 NEW i

学校における教職員の校務効率化と児童・生徒の学習活動支援を目的に、「台東区立学校における生成AIの利活用に関するガイドライン」に基づき、生成AIの適切な利活用を推進します。

[指導課]

«136» クラウド環境を活用した校務DXの推進 NEW i

教職員の働き方改革と教育の質向上を図るため、学校において校務DXを推進します。汎用クラウドツールを活用することで、業務の効率化を図り、教職員の時間的余白を創出します。

[指導課]

(空白ページ)